

「流々転々 KOBE 1942-1946」

をもっと楽しめる

小さなよりみち企画

リーディング・ライブ

～ことばと音が出会う夜～

{朗読} 山口 茜 {ピアノ} 谷川 賢作

(サファリ・P/トリコ・A)

「神戸の、あの日の、坂道の記憶を、語り奏でる宵」

戦時下の神戸・トアロードに刻まれた人々の記憶を糸口に、
劇作家・山口茜が『流々転々 KOBE 1942-1946』
上演台本から選び取った言葉を読み、
詩人・谷川俊太郎を父にもつ、作曲家・ピアニストの
谷川賢作がその場で音を紡ぐ一夜。

神戸の街に残る“あの日”の気配を
そっとすくい上げるように、ことばと音が出会い、
静かに響き合います。
物語の扉が開く前に、その気配をひと足先に味わう、
小さな“よりみち”の時間です。



「神戸文化ホール開館50周年記念事業」

「流々転々 KOBE 1942-1946」関連企画

akane maguchi Message



山口 茜 劇作家、演出家
サファリ・P/トリコ・A 主宰

私は普段、セリフを人前で口にする、という機会は
ほぼないのですが、実はセリフを書く時は、セリフ
を口に出しながら書きます。
長く険しい執筆も、最後に独りでいろんな役を
それらしく読む時間があるから続けられるのかも
しれません。今回は準備期間のさらに前の段階で、
神戸の街を数ヶ月かけて巡りました。

自室にいながら神戸にいるような感覚でセリフを喋るのは一際エキサイティングでした。まさかその成果を、神戸で発表する機会に恵まれるとは・・・！
みなさまにお会いできることを楽しみにしています。

kensaku tanigawa Message



谷川 賢作 作曲家、ピアニスト

我が心の故郷「Mokuba's Tavern」があるトアロードは、
いつ来ても東京もんの私がホッとできる街です。
そのトアロードが舞台で、しかも異彩を放つ俳人・
西東三鬼を巡る戦時中のお話ときたら、これはもう
「んん!? 一体なにが起こっていたのか。それはぜひ知
りたい」となるに決まっています。
今回のスピンオフライブで、山口茜さんの台本、そしてリーディングに、
ピアノでどのようなお手伝いをさせて頂くことができるのか、今から
ワクワクせずにはいられません！

information

日程: 2026年1月15日(木)
会場: 100BANホール
〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町100
時間: 19:00開演(18:30開場)
料金: 1,000円(税込/自由席)

◎精算は当日行います。
受付時にご予約名を
お申し出下さい。
◎未就学児入場不可

申込フォーム
はコチラ



流々転々 KOBE 1942-1946 [全3公演]

公演日: 2026. 2/14sat・15sun
会場: 神戸文化ホール 中ホール

原作: 西東三鬼『神戸・続神戸』(新潮文庫刊)
演出: 小野寺修二(カンパニーデラシネラ)
上演台本: 山口茜(サファリ・P/トリコ・A)
出演: 鈴木浩介 美弥るりか 他



問い合わせ: 神戸文化ホール TEL:078-351-3397 (平日10:00~17:00/月曜定休)

主催: 神戸文化ホール(指定管理者:公益財団法人神戸市民文化振興財団) 協力: 深川和美(MOKUBA'S TAVERN)、トアロード中央商店街振興組合、100BANホール
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) / 独立行政法人日本芸術文化振興会

